

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第128期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 オーベクス株式会社

【英訳名】 AuBEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗原則義

【本店の所在の場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第127期 第1四半期 連結累計期間	第128期 第1四半期 連結累計期間	第127期
	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,048,817	827,732	3,795,833
経常利益 (千円)	127,743	6,296	315,241
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (千円)	117,431	6,408	401,344
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	114,734	28,982	430,564
純資産額 (千円)	2,266,604	2,525,565	2,599,914
総資産額 (千円)	5,243,456	5,316,035	5,238,429
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	8.80	0.48	29.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.0	46.8	48.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調がみられたものの、雇用環境の悪化や個人消費の低迷は継続しており、ヨーロッパの債務問題の影響による海外経済の減速や円高の進行により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、827百万円(前年同四半期比21.1%減)、営業利益は、23百万円(前年同四半期比82.7%減)となりました。

経常損益では、経常利益6百万円(前年同四半期比95.1%減)となりました。

四半期純損益は、法人税等調整額10百万円を計上したことにより、6百万円の四半期純損失(前年同四半期 四半期純利益117百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(テクノ製品事業)

輸出割合の高いテクノ製品事業は、海外経済の減速による在庫調整の影響を受けて海外からの受注が落ち込み、売上高606百万円(前年同四半期比29.0%減)、セグメント利益(営業利益)は、85百万円(前年同四半期比60.9%減)となりました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、医療費抑制策の影響や公定償還価格の引き下げにより、市場環境および経営環境は厳しい状況が続いておりますが、積極的な営業活動による売上拡大に努めた結果、売上高220百万円(前年同四半期比13.8%増)、セグメント損失(営業損失)は、5百万円(前年同四半期 営業損失17百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、5,316百万円となりました。これは主に、現金及び預金215百万円の増加、商品及び製品65百万円の増加、受取手形及び売掛金130百万円の減少、その他流動資産43百万円の減少などによるものです。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ151百万円増加し、2,790百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金67百万円の増加、短期借入金70百万円の増加、その他流動負債79百万円の増加、賞与引当金18百万円の減少、長期借入金21百万円の減少などによるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、2,525百万円となりました。これは主に、利益剰余金51百万円の減少、為替換算調整勘定12百万円の減少などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は17百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,463,116	15,463,116	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	15,463,116	15,463,116		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		15,463,116		1,939,834		484,958

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 346,000		
	(相互保有株式) 普通株式 379,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,537,000	14,537	
単元未満株式	普通株式 201,116		
発行済株式総数	15,463,116		
総株主の議決権		14,537	

(注) 1 完全議決権株式(その他)欄の普通株式のうち、1,310,000株につきましては、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が390株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーベクス株式会社	東京都墨田区両国 4-31-11	346,000		346,000	2.24
(相互保有株式) 朝日商事株式会社	千葉県白井市河原 354番地1	379,000		379,000	2.45
計		725,000		725,000	4.69

(注) 当社は、「株式給付信託」の導入に伴い、平成24年3月12日付けで自己株式1,310,000株を資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。なお、自己株式数については、平成24年3月31日現在において信託E口が所有する当社株式(1,310,000株)を自己株式数に含めておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	836,177	1,052,094
受取手形及び売掛金	966,793	836,630
商品及び製品	54,140	119,324
仕掛品	752,006	753,595
原材料及び貯蔵品	181,038	193,983
繰延税金資産	119,644	108,757
その他	145,121	101,779
貸倒引当金	100	88
流動資産合計	3,054,822	3,166,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,921,684	1,913,871
減価償却累計額	1,239,235	1,244,045
建物及び構築物(純額)	682,448	669,825
機械装置及び運搬具	2,100,561	2,096,241
減価償却累計額	1,704,219	1,713,904
機械装置及び運搬具(純額)	396,341	382,336
土地	722,523	722,523
リース資産	117,913	114,281
減価償却累計額	92,745	93,245
リース資産(純額)	25,167	21,036
建設仮勘定	4,625	11,048
その他	315,170	323,516
減価償却累計額	241,959	245,898
その他(純額)	73,211	77,618
有形固定資産合計	1,904,318	1,884,388
無形固定資産		
特許権	12,959	11,864
その他	8,934	8,512
無形固定資産合計	21,894	20,377
投資その他の資産		
投資有価証券	150,464	141,665
長期貸付金	100	-
出資金	210	210
その他	134,054	133,987
貸倒引当金	35,650	35,650
投資その他の資産合計	249,178	240,212
固定資産合計	2,175,391	2,144,978
繰延資産		
開業費	6,403	3,493
社債発行費	1,810	1,485
繰延資産合計	8,214	4,979
資産合計	5,238,429	5,316,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	293,822	361,245
短期借入金	30,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,285,240	1,285,240
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	14,099	12,313
未払法人税等	11,201	3,784
賞与引当金	45,194	27,051
その他	145,215	224,439
流動負債合計	1,854,772	2,044,074
固定負債		
社債	115,000	115,000
長期借入金	308,110	286,800
リース債務	11,723	9,314
繰延税金負債	3,192	2,765
再評価に係る繰延税金負債	36,799	36,799
退職給付引当金	281,920	273,058
負ののれん	26,020	21,683
その他	975	975
固定負債合計	783,741	746,395
負債合計	2,638,514	2,790,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	495,097	495,097
利益剰余金	467,180	415,421
自己株式	223,645	223,662
株主資本合計	2,678,466	2,626,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	9,284
土地再評価差額金	82,312	82,312
為替換算調整勘定	36,732	49,580
その他の包括利益累計額合計	119,156	141,177
少数株主持分	40,604	40,050
純資産合計	2,599,914	2,525,565
負債純資産合計	5,238,429	5,316,035

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,048,817	827,732
売上原価	684,334	576,076
売上総利益	364,483	251,656
販売費及び一般管理費	230,558	228,551
営業利益	133,925	23,104
営業外収益		
受取利息	148	173
受取配当金	509	1,668
貸倒引当金戻入額	7,040	11
負ののれん償却額	4,336	4,336
その他	974	1,349
営業外収益合計	13,009	7,540
営業外費用		
支払利息	11,146	10,186
為替差損	4,008	9,722
その他	4,037	4,439
営業外費用合計	19,191	24,348
経常利益	127,743	6,296
特別利益		
投資有価証券売却益	528	-
特別利益合計	528	-
特別損失		
固定資産除却損	4,521	1,294
特別損失合計	4,521	1,294
税金等調整前四半期純利益	123,751	5,002
法人税、住民税及び事業税	5,030	1,504
法人税等調整額	495	10,459
法人税等合計	4,535	11,963
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	119,216	6,961
少数株主利益又は少数株主損失()	1,785	553
四半期純利益又は四半期純損失()	117,431	6,408

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	119,216	6,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	9,172
為替換算調整勘定	4,326	12,848
その他の包括利益合計	4,481	22,021
四半期包括利益	114,734	28,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,949	28,429
少数株主に係る四半期包括利益	1,785	553

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	31,858千円	29,359千円
支払手形	56,374 "	59,530 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	48,569千円	45,262千円
のれんの償却額	2,835 "	"
負ののれんの償却額	4,336 "	4,336 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	45,350	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	853,946	194,122	1,048,069	748	1,048,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高				7,290	7,290
計	853,946	194,122	1,048,069	8,038	1,056,107
セグメント利益又は損失()	219,726	17,910	201,816	4,057	205,873

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	201,816
「その他」の区分の利益	4,057
全社費用(注)	71,948
四半期連結損益計算書の営業利益	133,925

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	606,289	220,848	827,138	594	827,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高				7,290	7,290
計	606,289	220,848	827,138	7,884	835,022
セグメント利益又は損失()	85,860	5,056	80,803	4,362	85,165

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,803
「その他」の区分の利益	4,362
全社費用(注)	62,060
四半期連結損益計算書の営業利益	23,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	8円80銭	0円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	117,431	6,408
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	117,431	6,408
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,350,908	13,485,952

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 7日

オーベクス株式会社

取締役会 御中

監査法人グラヴィタス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 田 稔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤 本 良 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーベクス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーベクス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。